

# TRAUMATIZE



R-18



やほほーい!  
ただいまっおねーちゃんっ♡

こらこら...こらこら  
いきなり抱きついてこないの  
びっくりするでしょ

きゃ!

がばーっ♡

えー♡だってー  
おねーちゃんだいすきだから  
むいしきにやっちゃんもーん♡



いいじゃないですか  
微笑ましくて

その調子だと きっと  
お二人は昔からずっと仲良し  
だったんでしょねえ

...当然じゃない

こいしは私の大切な  
たった一人の可愛い妹だもの

あ…はい…!  
西地区の温度が地熱で…  
わかりました!

えっ…うちのペットが…  
ごめんなさいっ…!

お姉ちゃんにもちゃんと  
伝えておきますので…  
すみませんでしたっ…!

不気味だなあ…  
どうせ心が読めるんだから  
わざわざ話しかけてこなければいいのに  
めんどくさい奴だなあ…

地霊殿の主だかなんだか  
知らないけど  
偉そうにするならやること  
やってからにしてほしいもんだわ

どうせお前らには期待してないよ  
もういいからおとなしく  
あのお屋敷に引っ込んで  
くれないかね

まったくもう…  
大体 主はアレの姉の方じゃないの?  
こっちに言っちゃんとやって  
くれるのかしら…?

あはは…

まいったなあ…  
読んたし

もっとがんばらないと  
…なあ うん

…それでね お姉ちゃん

…ねえ ちゃんと聞いてる？  
お姉ちゃん

そういうわけで  
旧都のその区域がやたら  
熱くなっちゃってるみたいなの  
火の調節が必要ね

あとこの前うちのペットが逃げ出して  
壊しちゃったお店があるでしょ  
早くその…お金を払ってくれって…

ちょっと動物たちに  
火やお屋敷の管理を任せるのは  
やっぱり難しい気が  
すると思うんだけど…

もうちょっと頭のいいのが  
いればいいんだけどねえ  
どうしたもんか…

うーん…  
お姉ちゃんはどう思う？





こうやって自分をごまかして  
耳をふさぐことしかできない

私は…嫌われ者  
だから…どうせ



…えらいのね  
わざわざ外に出て  
文句を聞いてくるなんて

私はあなたみたいに  
強くなれないから



そうやって他人が怖くて  
引きこもっていても何一つ  
解決なんかにならないんだよ？

私もできるかぎりのことは  
がんばって協力するけど  
この地霊殿の主はお姉ちゃん  
なんだよ？  
私じゃみんな納得しないんだから



しっかりしてよ  
お姉ちゃん！  
そんなこと言っても  
この旧都が回って  
いかないんだからね



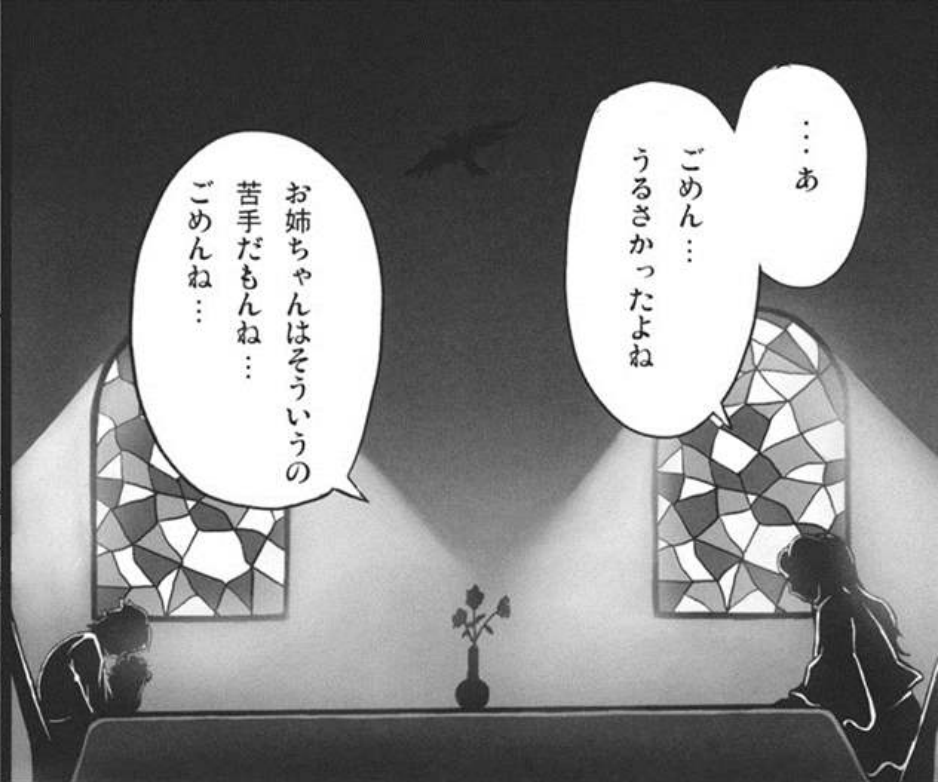
ねえ 私の言ってる  
言葉くらいちゃんと  
聞いてよ…！





あっ…  
そうだっ

わたしちょっと  
お散歩してくるね  
えへへ…っ



…あ  
ごめん…  
うるさかったよね

お姉ちゃんはそういうの  
苦手だもんね…  
ごめんね…



………



………  
こいし

やば…  
お姉ちゃん?



ふう…まあ…  
お姉ちゃんの性格上  
仕方ないんだろうけど

いい加減どうにかしてもらわない  
とな…  
お姉ちゃんが勝手にどんどん  
持ち込んだペットも  
私じゃ把握しきれないし…



ごめんね

...えと その〜  
ごめ  
こいし...  
あのね...うん...





はあ♡

あら…おはようござい  
ようやくのお目覚めね♡

はあ♡

…んっ  
あれ…わたし…

♡

お姉ちゃん待ちくたびれて  
我慢できなかったじゃない…♡

…♡

!!

…♡

んあ♡

くちくち♡

ズボッ  
ズボッ  
ズボッ  
ズボッ





今日はこいしに  
お姉ちゃんらしいこと  
してあげようと思ってね

あら？冗談ではないのよ  
いつもダメな私は  
あなたに迷惑ばかり  
かけてるでしょ？

何の冗談なのよ…  
お姉ちゃん…？

ちよ…っ



そんなわけで 毎日がんばる  
こいしのためにとっておきの子を  
用意してあげたわ♪

ちよ…まじ…

なに…コレ!!  
くっさ…っ!!  
口のなかくるしい…!!

きん。

きん。

きん。



うぐ…うえええっ!!  
のどっ…きたあ…っ!  
つぶれちゃうよおっ!!



くるしいっ…!  
くるしいよお…っ  
やだあっ!!

くさいっ…!!  
あつくてどくどくいって  
きもちわるいっ…!!  
やめて…お姉ちゃん…っ

あほっ  
あほっ



あらあら…いきなり  
がっつかれちゃって

そんなにソソるのかしら  
ちよっと妬けちゃうわ♥



あっ♥  
もうでちゃうの?  
びゅんびゅんって  
出るの…



くっくっ!!

あはっ  
あはっ





て・も・う

こんなくらいじゃ  
全然満足できないわよねえ  
お二人さん♡

キャッキャッ!!

平平平

ガッ



ごめんなさいっ!!  
生意気言って悪かったです  
ほんとそれだけはやめて...

フーッ

カフーッ

ザリッ

やだやだあっ!  
うそでしょ!?! やめてよっ

グググッ



いだあ...っ  
いたいよおっ...

お姉ちゃん!!

やめて...  
お姉ちゃん...

みだらっ  
オビっ

びしょ

これはお姉ちゃんからの  
プレゼントよ こいし  
大人になった気分はどう?



『まんきゅんきゅんの  
ぐっちゅぐっちゅでやばい  
気持ちいいッ...!』

びしょ







やあっ...♡  
クリがこしゅれてっ♡

しゅごい...♡  
ひもひいっ♡

ちゅ♡

んああっ♡  
きもちいい♡

びびっ♡  
びびっ♡

ちんぽでしぎゅっ♡  
おなかちゅぶれるっ♡



すき♡...♡♡♡♡

だいじょうぶだから...  
いっしょにイこっ♡

あーっ♡  
あーっ♡



マじしい♡もっ♡  
もっ♡ぎゅっ♡してえ♡

ああ♡

あっ♡ああんっ♡  
おねえちゃん♡わたしっ♡  
どんぢゃうよおっ♡



あん♡

あーっ♡







……何が？



……ごめんなさい

もう……許してくれた……？

はい……

はい……

はい……

はい……



私だってここができたばかりの頃  
お姉ちゃんがひとり すっごく  
がんばってたのも知ってるよ



昔からお姉ちゃんと私は正反対だもん  
私は大雑把で能天気 お姉ちゃんは  
賢くて繊細



人一倍真面目なお姉ちゃんは  
疲れちゃったんだよね  
それなのに私……

でも 私達は嫌われ者だから……  
頑張ってもなかなかみんなに  
認めてもらえない……



お姉ちゃんは私のやかましくて  
バカっぽいところが嫌なもの  
知ってるし  
悪いなあって思ってるよ……

「いい子」で……!!

何よ……なによ……!!

そうやっていつも私を哀れんで  
その上から目線が気に入らないの!!  
姉は私の方なのよ!!

謝るんだったらちゃんとして  
心を読んで私が望む妹に  
なりなさいよ!!

解ってるでしょ!! だったら  
か弱く姉の陰に引っ込んで  
可愛く縋り付いてみなさいよ!!

そんなに無能な私に  
みじめな思いをさせたいの!!

……つらいなあ  
お姉ちゃんの心がわかる  
ならこの眼もいかなって  
思ってたけど

ダメだなあわたし……  
なんかもう……いいや





ご…ごめんなさいっ  
こいし…しっかり…!



あ…ああ…っ



えへへ…  
どう?どう?!しがみついでみたよ!  
あれ?すがりつくだけ

まあいいや  
どう?おねえちゃん  
わたし  
かわいい?かわいい?



ああ…こいし  
なんて可愛い妹



こいし…あなた…

あれ?お姉ちゃん  
反応うすいよ?

ねえねえ  
おねえちゃんもほら  
ぎゅーっしてよ

うふふ…これからはちゃんと  
お姉ちゃん 頑張るからね  
ふふ…うふふ…♡

——最近 こいしが地上に

よく遊びに行くようになって ほんの少し

少しずつだけど

第三の眼が開きかけているような気がする

もし あの頃のあの子に戻るような事があったら

その時私は「お姉ちゃん」で在り続ける事が

できるのだろうか……

嗚呼 どうか神様 こいしがいつまでも私の

「可愛い妹」でありますように……





## あとがき駄文

「はじめはこいしちゃんかわかわでつくりだしたこの本、きづいたらさとりにもすごくきゅんきゅんでしたまる」

こんにちわ。この本をお手にとって頂いてありがとうございます。dream-mistのsai-goと申します。

今回は自分のやりたかった事ををとにかくやってみたい、という、半ば実験作的なものになっております。

今までとはあからさまに毛色が違う作品となっておりますので、特にお久しぶりですの方の反応が気になります；正直、現段階でこれを出すのにかなり不安を感じております…

しかし、自分が同人誌描くならこの話は描きたいとずっと思っていたネタなので思い切ってやってみることにしました。

自分は地霊殿が出た頃から、さとりのこいしに対する態度に若干引っ掛かりを覚えていました。なんというか、不自然な可愛がりというか、甘やかしというか。そういったものに何か裏があるのではという妄想をしていました。

他の二次創作ではとくに二人はべったり仲良し姉妹で、もちろんそういったものも大好きで、ニヤニヤして見ているのですが、やはりあの時の素の自分が感じたものをやはり形にしておきたいなあ、と。

今回、お話を伝えようと意識して漫画を描いたことがほとんど無かったので非常に苦戦しました。

自分設定満載なうえ、限られたセリフやコマで状況や設定を説明するのがとても難しく、一般向けなどストーリーをしっかり描く作家さん達は本当にすごいな…と思いました。

加えてこのこいしちゃんを陥落させるには身内からの強姦しかねえだろ！というのがコンセプトにあったのでエロもしっかり描きたい…と欲張ってカオスな感じになってしまいました。ぐぬぬ…。

実は、ネームをはじめて描いたのがちょうど一年前。色々と反省点は多いですが、やっと形になったのでひとまずすっきりしております。自己満足で申し訳ない。

稚拙ですが、これからも描ける限り頑張って描いていきたいですね。今回の本がえらい暗い内容だったので、次は明るい本が描きたいですね！w  
夢はフルカラーやってみたいね！！

お金があればね！！；

あと、そろそろ雛また描きたいなあ、とも。

次は冬コミに出れるといいなあ…。

それでは、このような本に最後までお付き合いいただきありがとうございました。

最後に、ゲストを描いて下さったカポさん、本当にありがとうございました！！

えろい！！綺麗！！うちのこんな妙な本に本当に載せていいのかしら…？

pixivで初めて拝見した時から憧れの絵師さんでした。エロさ、と綺麗さの調和が素晴らしいです！自分もこんな絵が描けるようになりたいなあ…。



「TRAUMATIZE」

原作：上海アリス弦楽団様

発行日：2011.8.13（コミックマーケット 80）

発行：dream-mist

発行者：sai-go

URL：<http://sai-go-haki-dame.blogspot.com/>

Pixiv ID：178067

印刷：ねこのしっぽ様

無断転載、無断複製、無断二次配布禁止。

18歳未満の購入、閲覧禁止。



2011.8.13  
DREAM-MIST  
TOUHO PROJECT FANBOOK  
FOR ADULT ONLY

